

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

臨時報

千葉県農林水産部

平成 22 年 8 月 6 日

～ 高温・少雨対策 ～

● 早期落水を防止し高品質米生産を！

銚子地方气象台の発表（8月5日）によると、今後2週間程度も気温が平年を1～2度上回る状態が続き、まとまった雨の降る可能性は小さい見込みです。

登熟期の水不足は減収と乳白米等品質低下の原因になります。

米粒の充実と品質向上のためにも、出穂後25日までは水が必要です。

また、自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも田面の乾燥は避けなければなりません。

- 出穂後2週間は湛水管理
- 出穂2週間後～出穂25日後までは間断かんがい

水不足の時は、湛水にする必要はありません。間断かんがいでも良いので、田面を湿らせるようにしましょう。

表 1 品種別の生育遅速と成熟期の予測

品種	植付時期	出穂期	成熟期予測			
			県北	九十九里	内湾	県南
ふさおとめ	4月20日頃	7月11日～	8月15日～	8月15日～	8月14日～	8月13日～
ふさこがね	4月20日頃	7月12日～	8月21日～	8月22日～	8月19日～	8月18日～
コシヒカリ	4月20日頃	7月17日～	8月31日～	8月29日～	8月24日～	8月25日～
	5月1日頃	7月22日～	9月1日～	8月30日～	8月29日～	8月29日～

※ 平年比は過去5年間（2005～2009年）平均値との比較、ただし「ふさこがね」は過去4～5年（2005～2009年）平均との比較。

※ 成熟期は出穂期から、ふさおとめ：+33日、ふさこがね：+37日、コシヒカリ：+38日で予測しています。気温が平年より高く推移しているため、この予測より早く成熟期となる可能性があります。